

## 11 自動車交通騒音の状況

### 11-1 概要

騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務については、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律に基づき、平成24年度より全ての市において自動車騒音常時監視業務を実施することになった。

市では、平成29年度の実施計画に基づき、評価対象区間における道路に面する地域に立地している住居等(1,281戸)を対象に自動車騒音の常時監視として面的評価を行った。

### 11-2 調査路線

東関東自動車道・一般国道356号(2地点)・佐原八日市場線・成田小見川鹿島港線・佐原椿海線・大栄栗源干潟線

### 11-3 対象路線及び評価区間、建物の設定

対象となる道路交通センサス区間に評価区間を設定し面的評価を実施した。

表11-1 評価区間一覧及び評価対象住居等戸数

No.	路線		調査単位区間		評価区間の 延長 (km)	評価 区間 番号	住居等 評価 対象 個 数 (戸)
	路線 番号	路線名	起点住所	終点住所			
1	1120	東関東自動車道	香取市阿福田	香取市多田	6.5	90	39
2	356	一般国道356号	香取市八日市場	香取市津宮	9.3	11280	659
3	356	一般国道356号	香取市北1丁目12	香取市佐原木	0.9	11390	133
4	16	佐原八日市場線	香取市岩部	香取市西田部	4.6	40490	122
5	44	成田小見川鹿島港線	香取市岩部	香取市虫幡	8.0	41210	278
6	56	佐原椿海線	香取市大角	香取市新里	1.9	41520	17
7	70	大栄栗源干潟線	香取市新里	香取市鳩山	2.8	42050	33

11—4 推計結果

表11-2 評価区間別騒音推計結果総括表

No.	路線		評価区間の延長 (km)	評価区間の番号	住居等評価対象 個数 (戸)	評価区間別 騒音曝露レベル統計値 (dB)					
	路線番号	路線名				昼間			夜間		
						平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値
1	1120	東関東自動車道	6.5	90	39	55	56.1	51.7	50	52.1	49.3
2	356	一般国道356号	9.3	11280	659	72	72.9	69.0	69	70.7	65.9
3	356	一般国道356号	0.9	11390	133	67	68.6	63.6	60	62.8	57.1
4	16	佐原八日市場線	4.6	40490	122	64	66.9	58.7	55	59.0	51.5
5	44	成田小見川鹿島港線	8.0	41210	278	70	71.5	68.0	67	69.9	64.0
6	56	佐原椿海線	1.9	41520	17	70	72.6	66.8	65	67.5	62.8
7	70	大栄栗源干潟線	2.8	42050	33	69	71.4	65.5	64	66.9	61.6

11—5 評価結果

表11-3 環境基準達成状況

No.	路線名	評価区間の番号	評価区間の延長 (km)	住居等戸数①+②+③+④ (戸)	昼夜とも基準値以下①	昼のみ基準値以下②	夜のみ基準値以下③	昼夜とも基準値超過④	住居等戸数①+②+③+④ (%)	昼夜とも基準値以下①	昼のみ基準値以下②	夜のみ基準値以下③	昼夜とも基準値超過④
					(戸)	(戸)	(戸)	(戸)	(%)	(%)	(%)	(%)	
1	東関東自動車道	90	6.5	39	39	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
2	一般国道356号	11280	9.3	659	371	208	0	80	100.0	56.3	31.6	0.0	12.1
3	一般国道356号	11390	0.9	133	133	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4	佐原八日市場線	40490	4.6	122	122	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5	成田小見川鹿島港線	41210	8.0	278	272	5	0	1	100.0	97.8	1.8	0.0	0.4
6	佐原椿海線	41520	1.9	17	17	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
7	大栄栗源干潟線	42050	2.8	33	33	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全体		—	34.0	1281	987	213	0	81	100.0	77.0	16.6	0.0	6.3

平成29年度対象区間の全体評価について、全体(1,281戸)では昼夜とも基準値以下は987戸(77.0%)、昼のみ環境基準以下は213戸(16.6%)、夜のみ環境基準以下は0戸(0.0%)、昼夜ともに基準値超過は81戸(6.3%)であった。

過年度を含む全体評価について、全体(5,830戸)では昼夜とも基準値以下は5,442戸(93.3%)、昼のみ環境基準以下は243戸(4.2%)、夜のみ環境基準以下は6戸(0.1%)、昼夜ともに基準値超過は139戸(2.4%)であった。